令和9年度

大学院海洋科学技術研究科
博士後期課程学生募集要項

（令和9年10月入学含む）

（第2次募集）

（注）本学博士前期課程から博士後期課程へ進学を希望する方は、本学生募集要項とは別の「進学者用募集要項」をご覧ください。

応用生命科学専攻

応用環境システム学専攻

令和８年１０月

国立大学法人
東京海洋大学
Tokyo University of Marine Science and Technology

東 京 海 洋 大 学　https://www.kaiyodai.ac.jp

目次

◎出願の流れ……i
◎　出願日程……1
◎　アドミッションポリシー……2
１．募集人員……5
２．出願資格等……6
３．入学資格審査……7
４．障害等がある入学志願者との事前相談……8
５．出願期間……9
６．出願手続……10
７．入学者選抜……17
８．試験日程……17
９．不正行為の取扱い……18
１０．合格発表……18
１１．入学手続……19
１２．入学に要する経費……19
１３．情報提供……19
１４．交通の案内……19
１５．注意事項……19
１６．教育研究上の目的……20
１７．安全保障貿易管理……20
１８．入学者選抜に用いた個人情報の取扱いについて……20
１９．その他……21
専攻案内……24
●応用生命科学専攻……25
●応用環境システム学専攻……28

《重要なお知らせ》

〈インフルエンザ等罹患者への対応について〉
★学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項について

試験当日に、学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻しん、新型コロナウイルス感染症等）にかかり治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、受験を認めません。ただし、病状により学校医その他の医師おいて感染のおそれがないと認められた者は、この限りでありません。
なお、本学では上記理由による追試験や入学検定料の返還は行いません。
受験者の皆さんは、試験当日に万全の体調で試験に臨めるよう、感染予防・健康管理に十分ご留意願います。

〈不測の事態が発生した場合の諸連絡〉
災害等により不測の事態が発生した場合、本学入学者選抜に関する情報提供は次の本学ホームページ等により行いますので、出願及び受験の直前は特に注意してください。
TOPページ（NEWS一覧→大学院入試　又は　入試情報→大学院入試→重要なお知らせ）

〈令和８年熊本地震への対応について〉
令和８年熊本地震の被災者が出願する入学者選抜試験のうち、出願受付期間が令和８年９月１日～令和９年７月２７日の入学者選抜試験を対象とし、入学検定料を免除します。申請方法及び審査等は以下をご確認ください。
https://www.kaiyodai.ac.jp/news/e_graduate/detail/8_10.html

◎出願の流れ

出願の流れ

出願登録はインターネットで行います。出願登録から受験票の印刷までの流れは、以下の通りです。

STEP 1 事前準備 → STEP 2 出願サイトにアクセス → STEP 3 マイページの登録 → STEP 4 出願内容の登録 → STEP 5 入学検定料の支払い → STEP 6 必要書類の提出 → STEP 7 出願完了 → 受験票の印刷

STEP 1 事前準備

- インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。
- 本学所定様式をダウンロードし、内容を作成のうえPDFに変換しておいてください。また、その他必要書類を準備しておいてください。準備に時間を要する場合がありますので、早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※本学所定様式及び必要書類は、必ず募集要項で確認してください

STEP 2 インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ https://e-apply.jp/ds/tkaiyo-gs/

または、

大学ホームページ ▶ https://www.kaiyodai.ac.jp/

からアクセス

STEP 3 マイページの登録

出願登録には事前にマイページの作成が必要となります。
マイページ登録後、出願期間になったら専用サイト及び画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。

①初めて登録する方は マイページ登録 から ログインしてください。

②メールアドレスの登録を行って 仮登録メールを送信 > を クリックしてください。

③ユーザー登録画面から ログインページへ を クリックしてください。

④登録したメールアドレスに 初期パスワードと 本登録用URLが届きます。

※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。

⑤ログイン画面から 登録したメールアドレスと④で届いた「初期パスワード」にて ログイン を クリックしてください。

⑥初期パスワードの変更を 行ってください。

⑦表示された個人情報を入力して 次へ を クリックしてください。

⑧個人情報を確認して この内容で登録する を クリックしてください。

⑨登録完了となります。
マイページへ を
クリックしてください。

⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、 出願手続きを行う > ボタンをクリックすると出願手続に進めます。

STEP 4 出願内容の登録

マイページ登録が完了された方は、出願サイトTOPページのログインからマイページに登録したメールアドレス及び設定したパスワードを入力し画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

①マイページログイン後の
出願手続きを行う > ボタン
から登録画面へ

②志望課程、選抜区分の選択
及び留意事項の確認

③志望専攻、入学時期、受験科目
等の選択及び指導予定教員等
の入力

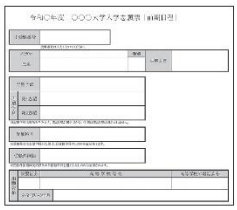
④顔写真のアップロード
写真選択へ > ボタンをクリックし
写真を選択します。

⑤個人情報(氏名･住所等)の
入力及び出願書類のアップ
ロード

⑥出願内容の確認
出願書類(PDF)(サンプル) ボタンを
クリックし出願書類を確認してください。
申込内容に間違いがなければ、
この内容で登録する ボタンを
クリックしてください。

⑦出願申込完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。
表示された受付番号(12桁)を控えて
おいてください。
また、支払手続き案内メールが送信され
ます。

[STEP5]
入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



[STEP6]
出願に必要な書類PDF(イメージ)
※検定料納入後に印刷できます。

出願申込完了後は、登録内容の修正･変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。※送信メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。クレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP 5

入学検定料の支払い

＊お支払いには期限がありますのでご注意ください。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】
VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード

出願内容の登録と同時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。※日本国内のみ

●レジで支払い可能

セブン-イレブン
デイリーヤマザキ
ヤマザキデイリーストアー
Seicomart

●店頭端末を利用して支払い可能

Loppi　LAWSON　MINI STOP
マルチコピー機　FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。※日本国内のみ

Pay-easy

※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

セブン-イレブン	デイリーヤマザキ ヤマザキデイリーストアー	ローソン ミニストップ	ファミリーマート	セイコーマート
店頭レジ	店頭レジ	Loppi	マルチコピー機	店頭レジ
レジで「インターネット代金支払い」と伝える	レジで「オンライン決済」と伝える	「各種番号をお持ちの方」を選択	「代金支払い/チャージ（コンビニでお支払いPayment/Charge）」を選択	レジで「インターネット代金支払い」と伝える
「払込票番号（13桁）」を伝える	「オンライン決済番号（11桁）」を伝える	「お客様番号（11桁）」入力	「お客様番号（11桁）」入力	「オンライン決済番号（11桁）」を伝える
		「マルチペイメントサービス」を選択		
		「確認番号（6桁）」入力	「確認番号（6桁）」入力	
		支払い内容確認	支払い内容確認	
レジで検定料を現金で支払う		発券された申込券（受付票）をレジへ持参し、検定料を現金で支払う 申込券（受付票）発行後は30分以内にレジにて支払ってください。		レジで検定料を現金で支払う
領収書（レシート形式）を必ず受け取る		払込受領証または受領書（レシート形式）を必ず受け取る		

4 銀行ATM

Pay-easy 利用ATM
ペイジー対応銀行ATM
「税金・料金払い込み」などを選択
収納機関番号「58021」を入力
「お客様番号（11桁）」入力
「確認番号（6桁）」入力
支払い内容確認
「現金」「キャッシュカード」を選択し支払う
ご利用明細書を必ず受け取る

STEP 6

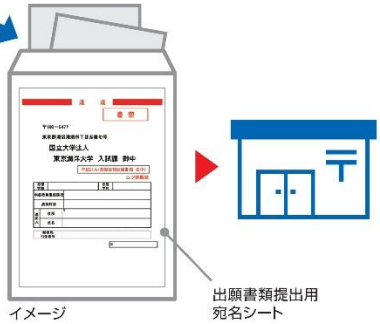
必要書類の提出 ＊登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

必要書類を出願期間内に提出してください。

必要書類

出願に必要な書類は、各学生募集要項「出願書類」を参照して準備してください。

入学志願票 ＋ 卒業証明書等



提出先

●**持参の場合**（平日9～17時 ※12～13時除く）
（品川キャンパス）　入試課入試第二係
（越中島キャンパス）越中島地区事務室教育支援係

●**郵送の場合**
〒108-8477　東京都港区港南4-5-7
東京海洋大学　入試課　行

「入学志願票」の印刷方法

(1) マイページに表示された 出願書類(PDF) のボタンをクリックしてください。

(2) お支払いが正常に完了すると 出願書類(PDF) のボタンがクリックできるようになり入学志願票の印刷ができます。

※一度受理した入学検定料・必要書類は一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を提出して完了（各選抜の出願締切日必着）となります。登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし、インターネット出願登録、検定料の支払い、出願に必要な書類の提出期間は学生募集要項に記載の通りです。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP 7

受験票の印刷

出願期間後に、インターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになります。受験票が印刷可能になったら、メールで通知が届きます。
「インターネット出願システム　ログイン」ボタンからログインして、必ず各自で受験票を印刷し、試験当日に持参してください。

※パソコン等の画面上の受験番号と、実際に印刷された受験票の受験番号が一致していることを必ず確認してください。

◎　出願日程

	入学資格審査が必要な方 （出願資格(6)～(8)）	その他の方 （出願資格(1)～(5)）
入学資格審査受付締切	１１/１２（木）	－
入学資格審査結果通知	１１/２５(水)頃	－
出 願 期 間	１１/３０（月）～１２/３（木）１７時まで	
学 力 試 験	2/2（火）	
合 格 発 表	3/4（木）１０時頃	
入 学 手 続　※	3/8（月）～3/１６（火）１７時まで	

※　令和９年１０月入学に合格した方は、令和９年９月に入学手続を行います。

◎　アドミッションポリシー

【博士後期課程】

１．受け入れる学生に求める関心・意欲

大学院海洋科学技術研究科博士後期課程では、時代や社会に機動的に対応でき、地球規模での海洋に係わる諸課題の解決に創造的に立ち向かい、かつ、海洋とその関連産業分野における先端領域を切り拓く、意欲と能力を持つ学生を求めます。

２．受け入れる学生に求める学修成果

(1)専門的学識

自立した研究者として海洋・水産・海事における諸課題の解決に独創的に取り組むための高度に専門的な知識と研究手法の修得

(2)豊かな国際性と幅広い教養

異分野との協働や英語による情報発信などグローバルに活躍する人材に求められる幅広い教養と国際的・文化的素養

(3)自ら考え判断する能力

自身が行う研究について学術研究における倫理性と学術的意義を理解し、適切な研究計画を立案し遂行できる能力

(4)現場で通用する実践力

得られた研究成果を論理的に説明できる能力、並びに自身の行う研究と社会との関わりについて自覚し、異分野の研究者や国際的な交流を通して多様なアプローチを考案しながら問題解決に結びつける積極性

３．入学者選抜での評価方法

入学者選抜に際しては、「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するため、一般選抜、進学者選考、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜および外国人留学生特別推薦選抜を実施し、学生を選考します。

・一般選抜

学力検査、成績証明書等により総合的に評価を行う。

・進学者選考

学力検査の結果をもとに総合的に評価を行う。

・社会人特別選抜

学力検査、業績の評価、成績証明書等により総合的に評価を行う。

・外国人留学生特別選抜

学力検査、成績証明書等により総合的に評価を行う。

・外国人留学生特別推薦選抜

書類審査または口述試験により総合的に評価を行う。

応用生命科学専攻

１．受け入れる学生に求める関心・意欲

海洋生物資源、食資源など応用生命科学に係る諸問題の解決、さらにそれら資源の保全と持続的利用を目指して、これらの機能性の解明、生物活動の特徴と営みの解明もしくは利用の研究に関心を持ち、自らそれらの課題設定を行い、解決と応用展開が出来る意欲ある学生を求めています。

２．受け入れる学生に求める学修成果

⑴専門的学識

自立した研究者として応用生命科学領域における諸課題の解決に独創的に取り組むための高度に専門的な知識と研究手法の修得

⑵豊かな国際性と幅広い教養

異分野との協働や英語による情報発信などグローバルに活躍する人材に求められる応用生命科学領域に関する幅広い教養と国際的・文化的素養

⑶自ら考え判断し表現する能力

社会的背景を踏まえ、応用生命科学領域に関する解決すべき課題について論理的に思考し、問題解決に向けた適切なアプローチができる基礎的な能力

⑷現場で通用する実践力

応用生命科学領域に関する自分の考えをわかりやすく他者に伝える表現力や、積極的に他者と交流するコミュニケーション能力と社会に対する責任感

３．入学者選抜での評価方法

入学者選抜に際しては、「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するため、一般選抜、進学者選考、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜および外国人留学生特別推薦選抜を実施し、学生を選考します。

・一般選抜

学力検査、成績証明書等により総合的に評価を行う。

・進学者選考

学力検査の結果をもとに総合的に評価を行う。

・社会人特別選抜

学力検査、業績の評価、成績証明書等により総合的に評価を行う。

・外国人留学生特別選抜

学力検査、成績証明書等により総合的に評価を行う。

・外国人留学生特別推薦選抜

書類審査または口述試験により総合的に評価を行う。

応用環境システム学専攻

１．受け入れる学生に求める関心・意欲

海を知り、守り、利用する観点から、海洋環境の調査や保全・修復のテクノロジー、海上輸送と港湾における物流、エネルギーの高効率利用に関わる先進の科学技術について、多面的思考を以って取り組むことによって問題解決に至る能力を有する学生を求めます。

２．受け入れる学生に求める学修成果

⑴専門的学識

自立した研究者として応用環境システム学領域における諸課題の解決に独創的に取り組むための高度に専門的な知識と研究手法の修得

⑵豊かな国際性と幅広い教養

異分野との協働や英語による情報発信などグローバルに活躍する人材に求められる応用環境システム学領域に関する幅広い教養と国際的・文化的素養

⑶自ら考え判断し表現する能力

社会的背景を踏まえ、応用環境システム学領域に関する解決すべき課題について論理的に思考し、問題解決に向けた適切なアプローチができる基礎的な能力

⑷現場で通用する実践力

応用環境システム学領域に関する自分の考えをわかりやすく他者に伝える表現力や、積極的に他者と交流するコミュニケーション能力と社会に対する責任感

３．入学者選抜での評価方法

入学者選抜に際しては、「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するため、一般選抜、進学者選考、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜および外国人留学生特別推薦選抜を実施し、学生を選考します。

・一般選抜

学力検査、成績証明書等により総合的に評価を行う。

・進学者選考

学力検査の結果をもとに総合的に評価を行う。

・社会人特別選抜

学力検査、業績評価、成績証明書等により総合的に評価を行う。

・外国人留学生特別選抜

学力検査、成績証明書等により総合的に評価を行う。

・外国人留学生特別推薦選抜

書類審査または口述試験により総合的に評価を行う。

◎ 出 願

１．募集人員

■令和９年１０月入学

専　攻　名	募集人員		
	一般選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
応用生命科学専攻	１４名		
応用環境システム学専攻	９名		

■令和９年１０月入学

専　攻　名	募集人員		
	一般選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
応用生命科学専攻	若干名		
応用環境システム学専攻	若干名		

注）募集人員は、各専攻とも一般選抜、外国人留学生特別選抜及び社会人特別選抜の合計数です。なお、別途選抜の進学者選考の募集人員も含みます。

注）国費外国人留学生、外国政府派遣による留学生については、別途選抜いたします。

注）入学希望時期については、間違いのないように出願してください。

〈大学院入試Q&A〉
本学ホームページに大学院入試に関するQ&Aを掲載していますので、出願にあたってはそちらもご覧ください。
TOPページ（HOME→ 入試情報→大学院入試→入試Q&A）

２．出願資格等

「【１】出願資格」のいずれかに該当し、かつ「【２】出願要件」を満たす者

【1】出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。（ただし、令和９年１０月入学希望者は下記（１）～（８）において、令和９年３月を令和９年９月と読み替えるものとします。）

（１） 修士の学位又は専門職学位（学位規則（昭和２８年文部省令第９号）第５条の２に規定する専門職学位をいう。以下同じ。）を有する者及び令和９年３月までに修士の学位又は専門職学位を取得する見込みの者

（２） 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和９年３月までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与される見込みの者

（３） 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和９年３月までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与される見込みの者

（４） 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和９年３月までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与される見込みの者

（５） 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との協定の実施に伴う特別措置法（昭和５１年法律第７２号）第１条第２項に規定する１９７２年１２月１１日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者又は令和９年３月までに学位を授与される見込みの者

（６） 外国の学校、（４）の指定を受けた教育施設又は（５）にいう国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第１６条の２に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

（７） 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第１１８号）

（８） 本学の大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和９年３月までに２４歳に達する者

※ （７）とは、以下ｉ又はⅱに該当する者です。

ｉ 大学を卒業し、大学、研究所等において、２年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

ⅱ 外国において学校教育における１６年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した後、大学、研究所等において、２年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

※ （６）、（７）及び（８）のいずれかにより出願する者は入学資格審査が必要になります。該当者は、入学資格審査の手続きを行ってください。（３．入学資格審査参照）

●各選抜区分の出願資格について

選　抜　区　分	出　願　資　格
①　一般選抜	上記出願資格（１）～（８）のいずれかに該当する者
②外国人留学生特別選抜	出願資格（１）～（８）のいずれかに該当する者で、「外国人（日本国永住許可を得ている者は除く）で大学等において教育を受け又は研究する目的をもって入国し、又は入国しようとする者で本学大学院に入学を志願する者」
③社会人特別選抜	出願資格（１）～（８）のいずれかに該当する者で、「企業等に正規雇用として２年以上の勤務実績がある者」 （注）大学の正規課程に在籍中の就業期間は勤務実績に含みません。ただし、夜間・通信制の大学に在籍しながら昼間正規雇用として就業していた期間は勤務実績に含みます。（在職証明書に雇用形態［正規雇用等の身分］を必ず明記のこと。）。

【2】出願要件

出願前に指導予定教員に連絡をとり、かつ指導予定教員から受験の承諾を得た者

＊指導予定教員の連絡先は、専攻案内にある各専攻の「指導教員一覧」をご覧ください。

＊出願する際の提出書類への指導予定教員のサイン及び押印は不要です。（入試課で受験承諾の確認を行います。）

※入試日程や実施方法については、変更される可能性があります。ホームページで最新の情報をご確認ください。

３．入学資格審査

本学の出願資格（６）、（７）及び（８）のいずれかによって出願する者は、書類審査による事前審査を行いますので、令和８年１１月１２日（木）までに下記の書類を入試課入試第二係へ提出してください。（出願資格（１）～（５）によって出願する者は、入学資格審査を行いません。）

本学所定様式はホームページ（令和８年１１月上旬頃に掲載）よりダウンロードし、作成して印刷のうえ提出してください。

郵送の場合は締切日までの必着とします。審査結果は令和８年１１月２５日（水）頃に本人あてに通知します。

なお、入学資格審査を希望する者は、書類提出前に必ず入試課へご相談ください。

※　書類審査だけで判断できない場合は、面接又は小論文により学力判定を行います。
　なお、実施日時等については、本人あてに通知しますので注意してください。

※　以前に本学の個別審査を受け、出願資格なしと判定された者のうち、改めて個別審査を受けようとする場合は、新たな学習歴又は資格取得などの事実が発生しない限り申請は認めませんのでご注意ください。

【入学資格審査に必要な提出書類】

入学資格審査提出書類	備　　考
a. 入学資格審査願・履歴書	本学所定様式（ダウンロード書式）により必要事項を記入してください。 出願資格の欄には(６)、(７)又は(８)のうち該当するものを記入してください。 ※免許・資格を有する者は、その写しを添付してください。
b. 最終出身学校の成績証明書	原本を提出してください。（コピー不可）
c. 在学証明書又は最終出身学校の卒業(見込)証明書	原本を提出してください。（コピー不可）
d. 研究歴証明書	本学所定様式（ダウンロード書式）により出身学校等の長、所属機関等の長又はそれに準じる者によって作成されたものを提出してください。 ※研究歴がない場合は省略することができます。
e. ・業務実績報告書 ・研究業績報告書	本学所定様式（ダウンロード書式）により本人が行った業務実績及び研究業績について記入してください。 （該当する業績等がない場合もその旨を記載の上、提出してください。） ※関係資料(研究論文、技術報告、実用新案等)がある場合は、別途PDF化してメール（n-nyusi2@o.kaiyodai.ac.jp）にて提出してください。その際にはメール本文に氏名、志望専攻、指導予定教員を記載してください。
f. 推薦書	本学所定様式（ダウンロード書式）により出身学校等の長、所属機関等の長又はそれに準じる者によって作成されたものを提出してください。なお、社会人特別選抜志願者で被雇用者でない場合は、業界団体の責任者など勤務実態を把握できる第三者に作成してもらってください。 ※提出できない場合は省略することができます。
g. レターパックライト （事前審査結果返信用）	お近くの郵便局・コンビニエンスストアなどの郵便切手類販売所（一部を除きます）で「レターパックライト」を購入（料金430円）してください。 ②購入後、「レターパックライト」の表紙の「郵便番号欄」に郵便番号を記入し、さらに「お届け先」欄に志願者の住所、氏名、電話番号を記入してください。 ※「レターパックライト」の表紙の下にある「ご依頼主様保管用シール」には何も記入しないでください。シールも剥がさないでください。
h. 外国の学校等で大学院設置基準第１６条の２に規定する試験及び審査に相当するものに合格した旨を証明する書類	出願資格(７)又は(８)により出願する者は提出の必要はありません。 出願資格(６)により出願する者は、この書類提出前に必ず入試課へご相談ください。

※　日本語及び英語以外の言語で作成された書類等には、日本語訳又は英訳を必ず添付してください。

４．障害等がある入学志願者との事前相談

本学大学院に入学を希望する者で、障害等があり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、令和８年１１月１２日（木）までに、入試課入試第二係にあらかじめ申し出てください。

申し出により相談が必要な場合は、以下のとおり事前相談を行います。

(1) 相 談 日：令和８年１１月２５日（水）までの本学の指定する日

(2) 相談方法：本学所定の「入学試験受験上の配慮申請書」及び診断書等を提出していただき、必要な場合は、本学において志願者又は代理人との面談を行います。

なお、本学ホームページに「入学試験受験上の配慮申請書」の様式を記載していますので、ご利用ください。

ＴＯＰページ（大学で学びたい方→大学院入試→障害等のある入学志願者との事前相談について）

※入試日程や実施方法については、変更される可能性があります。ホームページで最新の情報をご確認ください。

５．出 願 期 間

令和８年１１月３０日（月）～ １２月３日（木）　１７：００必着

※詳細については、**６.出願手続** をご覧ください。

※インターネット出願サイトでの入力・登録期限及び検定料の支払期間に関わらず、郵便事情等を十分考慮の上、上記出願期間内に必ず出願書類を提出してください。

出願方法

(1) 書類持参の場合

出願登録後に印刷可能になる「出願書類提出用宛名シート」を封筒に貼り、切手を貼らずに受付窓口に提出してください。

〇受付窓口（下記のどちらに提出しても構いません。）

（品川キャンパス　本部管理棟1階）入試課入試第二係　　TEL (03)5463－4265

（越中島キャンパス　1号館1階）越中島地区事務室教育支援係

※受付時間は平日（月～金）の９時から１７時までです。（１２時～１３時の間を除く）

(2) 郵送の場合

出願登録後に印刷可能になる「出願書類提出用宛名シート」を封筒に貼り、簡易書留にて下記の宛先まで郵送してください。

※海外からの郵送の場合は「出願書類提出用宛名シート」は使用せず、宛先及び差出人等を手書きで書いてください。

出願に必要な書類の提出は、出願期間**必着**となりますのでご注意ください。

郵便局から受領した「書留・配達記録郵便物等受領証」（お客様控）は必ず保管してください。この受領証により、東京海洋大学に出願書類等が届いたかどうか確認することができます。

詳細は日本郵便ホームページの「郵便追跡サービス」を参照ください。

https://trackings.post.japanpost.jp/services/srv/search/

〇郵送先　　〒108-8477　東京都港区港南４－５－７　東京海洋大学 入試課入試第二係

出願上の諸注意

(1) 「インターネット出願」は、マイページ登録、出願システムで登録しただけでは出願完了にはなりません。検定料を支払期間内に支払い、出願に必要な書類を提出期間内に本学に提出する必要があります。

(2) 出願完了後は、出願登録内容及び提出した出願書類の変更は認めません。

(3) 出願登録及び出願書類の内容と相違する事実が判明した場合は、受験を許可しないことがあります。また、合格者発表後又は入学後であっても、合格又は入学を取り消すことがあります。

(4) 受験のための渡日に係る日本滞在ビザが必要な方は、申請のために必要な書類をご自身でご用意ください。招へい理由書等は日本在住の親戚や知人に作成を依頼してください。

(5) 日本国外から出願書類を送付する場合、配送を依頼した業者等に必ず出願期間内に出願書類が届くかを確認し、配送が完了するまでは配送状況を確認し続けてください。もし上記出願期間最終日の前日までに出願書類が届かない可能性がある場合は下記の入試課の問合せ先にメールにてご連絡ください。

問い合わせ等

・インターネット出願サイトの操作方法・検定料支払い方法に関する問合せ

「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター　電話　0120-202-079（出願期間中24時間対応）

（運用会社：株式キャリタス）

・入試に関する問合せ/出願書類提出先

東京海洋大学　入試課入試第二係　　〒108-8477　東京都港区港南4-5-7

電話　03-5463-4265　（平日 9:00～17:00/土・日・祝日を除く）　　メール　n-nyusi2@o.kaiyodai.ac.jp

※やむを得ない場合を除き、志願者本人が問い合わせてください。

インターネット出願システムのログインについて 出願登録、検定料支払、必要書類印刷、受験票印刷等でインターネット出願システムへのログインが必要になります。ログインは、出願サイトからログイン画面にアクセスして、マイページ登録時に入力したメールアドレス及びパスワードを入力してください。

６．出 願 手 続

出願にあたっては、出願前に指導予定教員に連絡をとり受験の承諾を得ることが、出願の要件となっていますので、留意してください。　（*連絡先は各専攻の「指導教員一覧」をご覧ください。）

出願手続きは、出願期間内にインターネット出願システムにて出願登録をし、検定料を支払い、必要な書類を提出することによって完了します。なお、出願登録には事前にマイページの登録が必要です。

PROCESS 1	事　前　準　備	インターネット出願する前に必ず確認してください。

⇓

PROCESS 2	インターネット出願登録	パソコン等で本学ホームページからインターネット出願システムにアクセスし、マイページ登録、インターネット出願登録をしてください。また、本学指定出願書類をアップロードしてください。 令和8年11月25日（水）10:00 ～ 12月3日（木）16:30

⇓

PROCESS 3	検 定 料 の 支 払 い	インターネット出願システムの指示に従って、検定料をお支払いください。 令和8年11月25日（水）10:00 ～ 12月3日（木）16:30

⇓

PROCESS 4	出願に必要な書類の提出	インターネット出願システムから必要書類等を印刷し、他のすべての必要書類とともに本学に提出してください。 令和8年11月30日（月）～ 12月3日（木）　17:00必着

⇓

PROCESS 5	受 験 票 等 の 印 刷	出願が受理された方は、出願期間後にインターネット出願システムから受験票が印刷できるようになります。受験票は志願者各自が印刷して、必ず試験当日に持参してください。

PROCESS 1	事　前　準　備

(1) パソコン等の動作環境

インターネット出願は、以下の環境で行ってください。

〈ブラウザ〉

・Microsoft Edge 最新版　・Google Chrome 最新版　・Mozilla Firefox 最新版　・Apple Safari 最新版

ブラウザのタブ機能を使用して複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう不具合が発生する場合があります。複数のタブでの同時操作はしないでください。

スマートフォンやタブレット等のモバイル端末は、閲覧等可能ですが推奨環境ではありませんので、一部の端末からは画面が正常に表示されない場合があります。また、印刷するための印刷機能を必要としますので、パソコンからの利用を推奨します。

最新版はそれぞれのブラウザを立ち上げて以下のURLにアクセスして確認してください。

・Microsoft Edge⇒　edge://settings/help

・Google Chrome⇒　https://www.google.com/intl/ja/chrome/update/

・Mozilla Firefox⇒　https://support.mozilla.org/ja/kb/find-what-version-firefox-you-are-using

(2) プリンター、用紙等の用意

様式類は、A4サイズ普通紙に印刷する必要がありますので、プリンター及び印刷用紙（普通紙、PPC用紙、OA用紙、コピー用紙等）を用意してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いませんが、個人情報の取り扱いには十分注意してください。

(3) メールアドレスの用意及びメールの受信設定

出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。

@e-apply.jp

@o.kaiyodai.ac.jp

マイページに登録したメールアドレスに、出願申込や支払い手続きの際、メールが送信されます。

※一度登録したメールアドレスは変更できません。

(4) 本人写真データの用意

写真は本人確認に利用しますので、出願前3か月以内に撮影した正面、上三分身（おおむね胸から上）、脱帽、背景無しのカラー写真データを用意してください。（.jpeg、 .jpg、 .png、 .bmp ファイルサイズは10MBまで）

※使用できない写真の例

不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、複数名で写っている、画像に加工を施している（目を大きく見せたり、本人のイメージを変えるような加工）、現像された写真を再撮影しているもの等

(5) 本学所定様式のダウンロード及び作成

本学所定様式（令和８年１１月上旬頃に本学ホームページに掲載。志望理由書、学歴・職歴、業務実績報告書及び研究業績報告書）をダウンロードし、出願期間までに作成のうえＰＤＦに変換しておいてください。PROCESS2(3)において出願サイト上でアップロードします。なお、ＰＤＦに変換するときは、一つ一つの書類ごとにファイルを分けて変換し、ファイル名を付けてください。

※「入学志願票」は、見本（ＰＤＦ）を参考に内容を考えておいてください。PROCESS2(2)出願登録の段階で、作成した内容を出願サイト上で入力します。

(6) その他の必要書類

成績証明書、修了証明書または、修了見込証明書、修士論文要旨、推薦書、返信用封筒（レターパックライト）等、紙媒体の書類を出願期間に間に合うようにあらかじめ用意してください。成績証明書、修士論文要旨及び推薦状・推薦書は、PROCESS2(3)において出願サイト上にアップロードしますので、スキャンしてＰＤＦに変換しておいてください。（原本を写真に撮影した画像をPDF化したものは受付不可）必要な書類については、PROCESS2(3)の「出願書類のアップロード」及びPROCESS4の「出願に必要な書類の提出」を確認してください。

(7) 角形2号封筒の用意

必要書類提出のために、市販の角形2号封筒（240㎜×332㎜）を用意してください。

PROCESS 2	インターネット出願登録及び本学指定出願書類のアップロード

(1) インターネット出願サイトにアクセス

本学ホームページ（https://www.kaiyodai.ac.jp/）から、インターネット出願サイトにアクセスし、トップページにある「マイページ登録」にて必要事項を入力・登録後、出願登録を行ってください。すでにマイページ登録済みの方は、「ログイン」から登録したメールアドレス及びパスワードを入力し、出願登録を行ってください。なお、マイページに登録するメールアドレスは、連絡時に使用しますので、志願者本人と確実に連絡が取れるアドレスを入力してください。

(2) 出願登録

入力画面に沿って、志願者情報、出願資格情報等を登録してください。

※指導予定教員は、事前に連絡をとり受験の承諾を得た教員名を入力してください。

※志願者情報の「電話番号」は、連絡時に使用しますので、志願者本人と確実に連絡が取れる番号を入力してください。

※あて名表住所は、日本国内の住所を入力してください。本学から書類等を郵送する際の送付先になりますので、書類等が確実に受け取れる住所を入力してください。

※顔写真データのアップロードもここで行います。画面上で写真サイズを切り取り（トリミング）することもできます。

(3) 出願書類のアップロード

出願書類のうち、下表の書類をPDFファイルに変換したうえで、出願サイト上でアップロードしてください。(ファイルには名前を付けてください。)なお、提出する全ての出願書類については、PROCESS4の「出願に必要な書類の提出」に記載しています。

区分	出願書類	注意事項
各選抜共通	①志望理由書	研究計画を含めた志望理由を、本学所定様式(ダウンロード書式)により記入してください。
	②成績証明書	出身大学の学長が作成したものです。 ※出願資格(6)、(7)及び(8)のいずれかにより事前審査を受けた者は不要です。
	③学歴・職歴	本学所定様式(ダウンロード書式)により事項を記入してください。
	④修士論文要旨	修士論文を2,000字(英文の場合は700words)程度に要約したものです。 博士前期(修士)課程修了見込者は修士研究の内容を2,000字(英文の場合は700words)程度に要約したものです。なお、修士論文要旨には、志望専攻名及び氏名を記載してください。 ※出願資格(6)、(7)及び(8)のいずれかにより事前審査を受けた者は不要です。 ※修士論文を課さない大学院博士前期課程を修了した者等、これによりがたい場合は入試課にご相談ください。
	⑤業務実績報告書 ⑥研究業績報告書	本学所定様式(ダウンロード書式)により本人が行った業務実績及び研究業績について記入してください。(該当する業績等がない場合もその旨を記載の上、提出してください。) ※関係資料(研究論文、技術報告、実用新案等)がある場合は、PROCESS4の「出願に必要な書類の提出」において提出してください。 ※出願資格(6)、(7)及び(8)のいずれかにより事前審査を受けた者は不要です。
	⑦推薦書	本学所定様式(ダウンロード書式)により出身大学の指導教員、所属機関等の長又はそれに準じる者によって作成されたものを提出してください。なお、社会人特別選抜志願者で被雇用者でない場合は、業界団体の責任者など勤務実態を把握できる第三者に作成してもらってください。 ※東京海洋大学、東京商船大学及び東京水産大学の博士前期(修士)課程修了者、並びに出願資格(6)、(7)及び(8)のいずれかにより事前審査を受けた者は不要です。 ※提出できない場合は、省略することができます。 ※外国人留学生特別選抜は、⑧を提出すれば提出不要です。
外国人留学生特別選抜	⑧推薦状	出身大学の指導教員等、志願者の研究内容・適性を客観的に証明できる者により作成されたもの。(様式任意) 推薦状は提出が可能な場合のみ提出してください。 ※⑧を提出すれば⑦は提出不要です。 ※本学研究生として在籍している場合は、研究生出願時とは別の推薦状を提出してください。

※1 **日本語及び英語以外の言語で作成された書類等には、日本語訳又は英訳を必ず添付してください。**

※2 出願書類等に虚偽の記載をした場合、記載すべき事項を記載しなかった場合または提出すべき書類を提出しなかったことが判明した場合は、出願書類等の受理後でも出願無資格者とし、さらに入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

※3 記載された個人情報は、東京海洋大学において責任をもって管理します。

※4 いずれの書類も、原本を写真撮影した画像をPDF化したものは受付不可となります。

※5 **出願書類の種類、記載内容の誤字脱字などが無いか、アップロード前に必ず確認をしてください。**

(4) 出願内容確認

入力が完了すると、入学志願票（サンプル）のボタンが表示されます。内容をよく確認して、誤りがなければ、「この内容で登録する」ボタンをクリックしてください。

(5) 登録完了

画面に「受付番号」が表示されたら入力は完了です。「引き続き支払う」に進んでください。登録したメールアドレス宛に、「出願サービス支払手続き案内」メールが届きます。メールに記載されている受付番号は、出願内容の確認、検定料の支払い、出願に必要な書類の印刷等に用いますので入試終了まで大切に保管してください。

※「受付番号」は受験番号ではありません。受験番号は出願期間終了後に発行される「受験票」に記載されます。

【インターネット出願に関する注意事項】

・インターネット出願登録を完了しても、まだ出願手続きは完了していません。引き続き、検定料の支払い及び出願に必要な書類の提出を、必ず期間内に行ってください。

・インターネット出願登録完了後に、その日を含む4日以内に検定料の支払手続きが行われなかった場合は、出願登録したデータはキャンセルとみなされ、データが自動的に削除されますのでご注意ください。

・インターネット出願登録完了後は、登録内容の修正及び変更はできませんので、誤入力のないように注意してください。ただし、検定料支払いの前に誤りに気付いた場合は検定料を支払わずに、もう一度新たに最初から登録をやり直してください。（誤った登録データは、支払い期間中に検定料が支払われなければ、そのまま自動的にキャンセル扱いになり、削除されます。）

・顔写真データは、出願写真として適切でないと判断された場合には、再提出となる場合があります。

PROCESS 3	検 定 料 の 支 払 い

「令和８年熊本地震」により被災された志願者の方は、以下のページをご参照ください。

https://www.kaiyodai.ac.jp/news/e_graduate/detail/8_10.html

検定料の支払いは、PROCESS2のマイページ登録、インターネット出願登録完了及び本学指定出願書類のアップロード後に行います。出願登録完了後に、以下のいずれかの方法で支払い手続きに進んでください。

- 出願登録完了画面から、「引き続き支払う」をクリックする。
- 「出願サービス支払手続き案内」メールに表示されているＵＲＬから支払いページに進む。
- 出願サイトからマイページにログインして「お支払い」をクリックする。支払い方法を選択して、支払期間内に検定料の支払手続きを行ってください。

検　定　料	支　払　期　間
30,000円	令和８年１１月２５日（水）１０:００ ～ １２月３日（木）１６:３０ 上記期間内で、インターネット出願登録を完了した日を含む4日以内に支払ってください。ただし、インターネット出願登録を完了した日を含み4日に満たず出願最終日16：30になった場合は、上記の支払期間が優先され、以降の支払いは出来ませんのでご注意ください。

※検定料支払いには、別途手数料がかかります。手数料は支払人負担となります。手数料の額は、支払手続き画面に表示されます。

支　払　方　法	取　扱　機　関　等
クレジットカード （出願登録に引き続き支払完了）	VISA/MasterCard/JCB/AMERICAN EXPRESS/MUFGカード/DCカード/UFJカード/NICOSカード
ネットバンキング （インターネットで手続き完了）	ペイジー対応ネットバンキング/ PayPay銀行（旧：ジャパンネット銀行）/楽天銀行/住信SBIネット銀行/auじぶん銀行
コンビニエンスストア （各コンビニ端末画面の表示に従って必要情報を入力し支払う） ※日本国内のみ支払可能	セブン-イレブン/ローソン/ミニストップ（Loppi）/ファミリーマート（マルチコピー機）/デイリーヤマザキ/セイコーマート
郵便局・銀行ATM （ATMの画面表示に従って必要情報を入力し支払う）※日本国内のみ支払可能	ペイジー対応銀行ATM（ゆうちょ銀行も含まれます）

【検定料支払いに関する注意事項】

(1)インターネット出願サイトからダウンロードする入学志願票は、検定料支払い前には印刷出来ません。

(2)支払期間内に検定料の支払い手続きが行われなかった場合は、出願登録したデータはキャンセルとみなされ、データが自動的に削除されますのでご注意ください。

(3)クレジットカード決済で支払う際のカード名義人は、志願者本人ではなくても構いません。

【検定料の返還について】

払込済みの検定料は、次の場合を除きいかなる理由があっても返還しません。

(1) 検定料を払い込んだが、出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合

(2) 誤って検定料を二重に払い込んだ場合

なお、上記(1)、(2)に該当する場合は、速やかに入試課入試第二係（TEL 03-5463-4265）まで連絡してください。後日、本学が別に定める返還額を返還します。

PROCESS 4	出願に必要な書類の提出

出願に際して提出する必要書類は、下表のとおりです。出願に必要な書類の提出は、PROCESS3の検定料の支払いが完了した後に行います。インターネット出願サイトにログインして、「入学志願票」を印刷し、その他必要な書類を揃えて出願期間内に郵送または持参してください。

出願期間：令和８年１１月２５日（水）　～　１２月３日（木）１７：００必着

区分	出願書類	注意事項
各選抜共通	①入学志願票 ※PROCESS2で作成したもの	インターネット出願システムからA4サイズで印刷してください。 指導予定教員欄へのサイン及び押印は必要ありません。
	②志望理由書 ※PROCESS2でアップロードしたもの	PROCESS2でアップロードした書類の原本を提出してください。
	③成績証明書 ※PROCESS2でアップロードしたもの	出身大学の学長が作成したものです。原本を提出してください。**(コピー不可)** ※出願資格(6)、(7)及び(8)のいずれかにより事前審査を受けた者は不要です。
	④学歴・職歴 ※PROCESS2でアップロードしたもの	PROCESS2でアップロードした書類の原本を提出してください。
	⑤修了証明書又は 修了見込証明書	出身大学の学長が作成したものです。原本を提出してください。**(コピー不可)** ※出願資格(6)、(7)及び(8)のいずれかにより事前審査を受けた者は不要です。
	⑥修士論文要旨及び 修士論文(本体) ※要旨はPROCESS2でアップロードしたもの	修士論文要旨については、PROCESS2でアップロードした書類の原本を提出してください。 また、修士課程修了者は、修士論文(本体)についても提出してください。ただし、東京海洋大学、東京商船大学及び東京水産大学博士前期(修士)課程修了者は、修士論文(本体)の提出は不要です。 ※出願資格(6)、(7)及び(8)のいずれかにより事前審査を受けた者は不要です。 ※修士論文を課さない大学院博士前期課程を修了した者等、これによりがたい場合は入試課にご相談ください。
	⑦業務実績報告書及び 研究業績報告書 ※PROCESS2でアップロードしたもの	PROCESS2でアップロードした業務実績報告書及び研究業績報告書の原本を提出してください。 また、関係資料(研究論文、技術報告、実用新案等)がある場合は、別途PDF化してメール(n-nyusi2@o.kaiyodai.ac.jp)にて提出してください。その際にはメール本文に氏名、志望専攻、指導予定教員、出願サイト登録時の受付番号を記載してください。 ※出願資格(6)、(7)及び(8)のいずれかにより事前審査を受けた者は不要です。
	⑧推薦書 ※PROCESS2でアップロードしたもの	本学所定様式(ダウンロード書式)により出身大学の指導教員、所属機関等の長又はそれに準じる者によって作成されたものを提出してください。なお、社会人特別選抜志願者で被雇用者でない場合は、業界団体の責任者など勤務実態を把握できる第三者に作成してもらってください。 ※東京海洋大学、東京商船大学及び東京水産大学の博士前期(修士)課程修了者、並びに出願資格(6)、(7)及び(8)のいずれかにより事前審査を受けた者は不要です。 ※提出できない場合は省略することができます。 ※外国人留学生特別選抜は⑫を提出すれば提出不要です。
	⑨レターパックライト (返信用)	①お近くの郵便局・コンビニエンスストアなどの郵便切手類販売所(一部を除きます)で「レターパックライト」を購入(料金430円)してください。 ②購入後、「レターパックライト」の表紙の「郵便番号欄」に郵便番号を記入し、さらに「お届け先」欄に志願者の住所、氏名、電話番号を記入してください。 ※「レターパックライト」の表紙の下にある「ご依頼主様保管用シール」には何も記入しないでください。シールも剥がさないでください。 ③郵送で出願する場合、「レターパックライト」を真ん中(「品名」記入欄あたり)から「お届け先」記入欄が見えるよう(外側)に折り曲げて、封入してください。
	外国籍の志願者は、以下の⑩及び⑪を提出してください。	
	⑩パスポート(写し)	氏名、写真、旅券番号、有効期限が確認できるページを含むこと。
	⑪在留カード (表面と裏面の写し)	出願時に日本に在住している方は、出願時に窓口にて在留カード原本の確認も行います。ただし、郵送により出願を行う場合は、住民票(国籍、在留資格等の記載があるもの。写し不可。個人番号が非記載のもの。)を提出してください。

※次ページに続く

外国人留学生　特別選抜	⑫推薦状 ※PROCESS2でアップロードしたもの	出身大学の指導教員等、志願者の研究内容・適性を客観的に証明できる者により作成されたもの。(様式任意　原本を提出のこと。) 推薦状は提出が可能な場合のみ提出してください。 ※⑫を提出すれば⑧は提出不要です。 ※本学研究生として在籍している場合は、研究生出願時とは別の推薦状を提出してください。
社会人　特別選抜	⑬在職証明書	勤務先の所属長等(人事部長相当職可)が作成した、出願資格の勤務実績に係る在職期間及び雇用形態が明記された書類です。(様式任意)なお、被雇用者ではない場合は、社会人特別選抜の出願資格を証明する事項が入った在職証明書を業界団体の責任者など勤務実態を把握できる第三者に作成してもらってください。

※1 提出された書類等に不備がある場合には、受理しません。また、受理後の出願書類等の変更・追加は認めません。

※2 **日本語及び英語以外の言語で作成された書類等には、日本語訳又は英訳を必ず添付してください。**

※3 出願書類等に虚偽の記載をした場合、記載すべき事項を記載しなかった場合または提出すべき書類を提出しなかったことが判明した場合は、出願書類等の受理後でも出願無資格者とし、さらに入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

※4 出願時に提出される書類（特に出身大学の卒業証明書や成績証明書等）について、その他必要な書類を提出頂く場合があります。また、必要に応じて発行元等に照会を行う場合があります。

※5 記載された個人情報は、東京海洋大学において責任をもって管理します。

PROCESS 5　受 験 票 等 の 印 刷

受験票の印刷可能期間内にインターネット出願システムにログインして受験票を印刷し、必ず試験当日に持参してください。大学から受験票の発送は行いませんので、各自で印刷してください。

受験票の印刷可能開始日時	令和８年１２月２２日(木)15時頃

【受験票に関する注意事項】

・受験票を印刷後、記載内容を必ず確認してください。受験日程等の案内も表示されますので、注意して読んでください。

・出願登録した内容と異なっている場合や印刷ができない場合は、入試に関する問合せ先（入試課入試第二係　TEL 03-5463-4265）に、令和８年１２月２４日(木)までに連絡してください。

・インターネット出願登録した際の受付番号は、受験番号ではありません。試験当日は受付番号での受験はできませんので必ず受験票を持参してください。

・試験当日にスマートフォン等で画面表示による受験票の提示は認めません。必ず印刷した受験票を持参してください。

インターネット出願では、マイページ登録、インターネット出願システムでの出願登録、検定料の支払いだけでは、出願は完了しません。出願に必要な書類が出願期間内に本学へ到着して、出願が受理されます。
インターネット利用や印刷の環境がない場合は、公共図書館のインターネットサービスを利用する等の対応により、出願してください。以上の対応によってもインターネット出願の利用が難しい場合は、入試に関する問合せ先（入試課入試第二係　TEL 03-5463-4265）に相談してください。

７．入学者選抜

(1)一般選抜実施方法

入学者の選抜は、学力検査（筆記試験及び口述試験）及び成績証明書等を考慮して総合的に行います。

また、筆記試験「専門科目」は、試験に使用する言語を日本語と英語から選択することができます。

専　攻　名	学　力　検　査	
	筆記試験（専門科目）	口述試験
応用生命科学専攻	指導を希望する指導教員の専門科目	修士論文等についての発表など
応用環境システム学専攻		

(2)外国人留学生特別選抜実施方法

入学者の選抜は、学力検査（筆記試験及び口述試験）及び成績証明書等を考慮して総合的に行います。

また、筆記試験「専門科目」は、試験に使用する言語を日本語と英語から選択することができます。

専　攻　名	学　力　検　査	
	筆記試験（専門科目）	口述試験
応用生命科学専攻	指導を希望する指導教員の専門科目	修士論文等についての発表など
応用環境システム学専攻		

(3)社会人特別選抜実施方法

入学者の選抜は、学力検査（口述試験）、業績の評価及び成績証明書等を考慮して総合的に行います。

専　攻　名	学　力　検　査（口述試験）
応用生命科学専攻	修士論文、研究業績等についての発表など
応用環境システム学専攻	

東京海洋大学では、企業等に在職したまま大学院に入学を希望する社会人に対して、入学後も社会人が学び易いように大学院設置基準第１４条の規定による教育方法の特例として昼夜開講制度を実施して社会人を積極的に受け入れます。なお、昼夜開講制度を希望する方は事前に入試課へご連絡ください。

※入試日程や実施方法については、変更される可能性があります。ホームページで最新の情報をご確認ください。

８．試験日程

区　分	学　力　検　査		試験場所
	筆記試験	口述試験	
一般選抜 外国人留学生特別選抜	2月2日(火) 10時～11時30分	2月2日(火) 13時～	品川キャンパス
社会人特別選抜		2月2日(火)の専攻が指定する時間 （または、1月28日（木）～2月1日（月）で専攻が指定する日時）	品川・越中島キャンパス または遠隔会議システム により実施

試験場所等の詳細については受験票印刷時に確認してください。なお、社会人特別選抜の試験日程については、受験生の了承を得た上で上記の期間に変更する場合があります。また、社会人特別選抜の口述試験は、遠隔会議システムを利用して行う場合があります。これらの場合の詳細については、各専攻から受験生本人に連絡します。

9. 不正行為の取扱い

次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての試験の成績を無効とします。

なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

(1) 入学志願票、受験票へ故意に虚偽の入力（インターネット出願登録の際に受験者本人以外の写真データを取り込むことなど。）又は解答用紙へ故意に虚偽の記入（解答用紙に本人以外の名前･受験番号を記入するなど。）をすること。

(2) カンニング（カンニングペーパー･参考書･他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。

(3) 他の受験者に答えを教えることやカンニングの手助けをすること。

(4) 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。

(5) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。

(6)「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開くことや解答を始めること。

(7) 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。

※イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中、病気･負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮申請（「4. 障害等のある入学志願者との事前相談について」を参照）が必要です）。

(8) 試験時間中に使用を許可された場合を除き、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。

(9)「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていることや解答を続けること。

上記（1）～（9）以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記（1）～（9）と同様です。

(10) 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類や使用を許可された場合を除き定規、コンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていることや手に持っていること。

※通信機能のある電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末等）は、試験時間中は電源が切られていてもかばんの中にしまっていなければ、使用しているものとして、不正行為となる。衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとして、不正行為となる。

(11) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信･アラーム･振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

(12) 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申し出をすること。

(13) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

(14) 試験場において監督者等の指示に従わないこと。

(15) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

10. 合 格 発 表

合格者の発表は、令和９年３月４日（木）１０時頃に本学ホームページ上に合格者の受験番号を掲載します。

また、本人あてに合格通知書及び入学手続きに必要な書類を送付します。

東京海洋大学URL： https://www.kaiyodai.ac.jp/ （電話その他による問い合わせには一切応じません。）

※事務処理の都合上、合格通知書に記載される氏名の漢字を一部他のものに置き換える場合がありますので、ご了承ください。

11. 入 学 手 続

入学手続の期間は、令和９年３月８日（月）から３月１６日（火）までです。

インターネット出願サイトの「入学手続きシステム」から本人情報を登録及び入学料の支払いをした後に、必要書類を提出（郵送）することで完了します。必要書類の提出は、令和９年３月１６日（火）１７時必着です。

入学手続の詳細については、合格通知書と共に送付します。

※ただし、令和９年１０月入学に合格した方は、令和９年９月に入学手続を行います。

※入学手続完了者が事情により入学を辞退した場合でも、入学料の返還はできません。

12. 入学に要する経費（予定）

入学料　282, 000円

授業料　年額535, 800円（前期分 267, 900円 後期分 267, 900円）

その他　学生教育研究災害傷害保険費、テキスト代、実習費等（金額は専攻により異なる）

※　入学時及び在学中に入学に要する経費の改定を行った場合は、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

13. 情 報 提 供

本学大学院の入試に関する志願者数及び合格者数等の情報は、ホームページ上で公表いたします。（令和９年４月上旬以降の予定）

14. 交通の案内

本学への交通機関は、最終ページの「交通の案内」を参照してください。

15. 注 意 事 項

(1) 出願書類は一切返却しません。

(2)出願にあたっては、あらかじめ指導を希望する教員と研究内容や出願について相談してください。

(3) 入学志願票等の出願書類が記載事項不備の場合は受け付けませんので、記入もれがないようにしてください。

(4) 入学後に出願書類等に虚偽の申請や不正等が発覚した場合、入学許可を取り消すことがあります。

(5) 他の大学等（大学院、短期大学、高等専門学校を含む。）との二重在籍は認めません。二重在籍の事実が判明した場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

(6) 学力検査は全ての試験科目を受験してください。１科目でも受験しなかった場合、それ以降の科目は受験できません。

16. 教育研究上の目的

本学大学院では、以下のとおり教育研究上の目的を定めています。

東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科における教育研究上の目的に関する規則（抜粋）

（目的）

第１条　この規則は、東京海洋大学大学院学則（平成16年海洋大規第101号）第４条第２項の規定に基づき、東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科（以下「研究科」という。）の各専攻における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を明確にするために定める。

（教育研究上の目的）

第２条　研究科においては，海洋とその可能性に興味と関心を持ち，海洋に関する学術の理論及び応用を探求し，先端領域を切り拓く高度の専門能力と独創性，及び国際的に活躍できる豊かな教養と倫理性を併せ持つ高度専門職業人や研究者を養成するとともに，海洋分野の諸課題に係わる基礎から応用に至るまでの高度な研究を行うことにより，直面する諸課題の解決を図ることで，人類社会の発展に寄与することを教育研究上の目的とする。

２　各専攻の教育研究上の目的については，次の表に掲げるとおりとする。

課程	専攻名	教育研究上の目的
博士後期課程	応用生命科学専攻	海洋生物の生理・生態・機能を総合的に解明し，海洋生物資源の持続的生産と高度有効利用に応用することを目的とする。具体的には海洋生物の保全，資源管理，増養殖，食品としての利用，有用物質の単離や生産を目指した先端的学理と技術開発に関する教育研究を行う。
	応用環境システム学専攻	海と人間の共生の観点から，海流の変動機構・物質拡散の計測と予測，資源探査技術の創出，海洋生物と環境の関わり，安全効率的な海上交通輸送システムの構築，先端推力・エネルギー機器・機械システムの開発，海洋管理政策提言等，海洋環境の解明・利用・保全に関する学理と技術に関する教育研究を行う。

17. 安 全 保 障 貿 易 管 理

東京海洋大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人東京海洋大学 安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生の受入れについては厳格な審査を実施しています。指導を受けたい教育研究内容等が規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合がありますので、願書の提出の前に必ず指導予定教員に相談し、出願にあたっては注意してください。

なお、安全保障貿易管理の詳しい内容は経済産業省ホームページの「安全保障貿易管理」を参照してください。

https://www.meti.go.jp/policy/anpo/

18. 入学者選抜に用いた個人情報の取扱いについて

①出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、(1)入学者選抜（出願処理、選抜実施）、(2)合格発表、(3)入学手続、(4)入学者選抜方法等における調査・研究、分析及び(5)これらに付随する業務を行うために利用します。

②各種業務での利用に当たっては一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という）において行うことがあります。 業務委託に当たり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部を提供します

③出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は、合格者のみ入学手続関係（入学料、授業料等）、教務関係（学籍データ等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）に関する業務を行うために利用します。

また、入学準備資料送付のため、合格者の出願時の住所、氏名及び電話番号を東京海洋大学生協へ提供します。この個人情報は、入学準備資料の送付のみに使用されます。

19.　そ の 他

●入学料免除制度･授業料免除制度

本学では、大学院生に対する支援として、本学免除基準による入学料免除、授業料免除を実施します。

※国からの予算額の減少により、減免金額が減少する可能性があります。

※減免金額は、判定時の家計状況により審査の上、決定します。

４月より申請を受け付けますので、希望される方は忘れずに申請してください。

詳細は大学ホームページに掲載する授業料等免除の情報を確認してください。

●奨学金制度

学業成績が優秀で、かつ経済的な理由により修学が困難である者を対象とした奨学金制度があります。

主な団体は下記のとおりです。

・独立行政法人日本学生支援機構　https://www.jasso.go.jp/

・地方公共団体

・その他の民間奨学団体

●学生寮の概要

(1) 目的

東京海洋大学学生寮は、本学の学生に生活と勉学の場を提供し、もって修学上の便宜を図ることを目的として設置された居住施設です。

(2) 管理運営

学生寮の管理運営は、東京海洋大学青鷹寮規則および東京海洋大学海王寮規則に基づいて行います。なお、学生寮に関する事務は学生サービス課学生生活係が担当しています。

(3) 名称・定員・所在地

名　　称	青鷹寮（せいようりょう） （品川キャンパス）	海王寮(かいおうりょう) （越中島キャンパス）
居　　室	352室　【個室（洋室）】 （研究者用、留学生用居室含む）	334名　【準個室（洋室）】 （1室を2部屋に区切り2人で使用）
面　　積	男子・女子（日本人学生用） 単身A室（32室）　約9㎡/居室 単身B室（186室）　約13㎡/居室	男子寮（129室）：約12.5～約18㎡ 女子寮（38室）：約12.5㎡
所 在 地	〒108-0075東京都港区港南4-5-34 （品川キャンパス内）	〒135-0044東京都江東区越中島2-2-8 （越中島キャンパス内）

(4) お問合せ先

東京海洋大学学生サービス課学生生活係 電話：03-5463-0433

(5) 入寮募集要項

入寮募集要項は、下記ＵＲＬ→入寮募集要項に掲載します。

入寮募集要項の公開時期は、下記ＵＲＬ→学生寮募集日程に掲載の各入寮年度の学生寮募集日程を確認してください。

学生寮関係URL：https://www.kaiyodai.ac.jp/campuslife/dormitory/

※外国人留学生対象の入居者募集について

外国人留学生対象の宿舎については、空室がある場合に大学ホームページで入居者募集を行っています。

TOP ページ（https://www.kaiyodai.ac.jp/）→在学生の方→ 在学する留学生向け情報 → 宿舎募集情報

（または、https://www.kaiyodai.ac.jp/international/foreignstudents/#anchor4）

●在学期間の短縮

本学大学院博士後期課程では、特に優れた研究業績を上げた者について、博士前期課程に２年以上在学し当該課程を修了した者については博士後期課程に１年以上、博士前期課程において在学期間の短縮を適用されて修了した者については当該博士前期課程の在学期間を含めて大学院に３年以上在学すれば修了できる制度があります。

●長期履修制度

本学大学院博士後期課程では、職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士後期課程は３年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することが出来る「長期履修制度」を設けています。

⑴ 「長期履修制度」は社会人特別選抜での学生に限定していませんので、条件に該当していれば他の選抜区分の学生も対象となります。（ただし、外国人留学生の場合、「留学」の在留資格取得・更新に影響を生じる場合があります。）

⑵ 申請期限は入学手続日を予定しています。

⑶ 申請に必要な書類は指導（予定）教員から受け取り、修了の見通しについて指導（予定）教員と充分な打合せをしてください。

⑷ 詳細は学務部教務課大学院係（TEL:03-5463-0395　E-mail: k-dai@o.kaiyodai.ac.jp）までお問合わせください。

●学位

本学大学院博士後期課程において当該課程に３年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格した者は、博士（海洋科学又は工学）の学位が授与されます。

●コース･プログラム等

【海洋AI･データサイエンス学位プログラム】博士前期･後期課程一貫、全専攻共通

本学では、ビッグデータ解析や機械学習法をリテラシーとして身につけ、本学が有する海洋、海事、水産の専門知識とフィールドに関する豊富な経験を元に、的確に人工知能を用い、その社会実装を主導するイノベータ・高度専門技術者や海洋政策の立案を行う人材である「海洋産業ＡＩプロフェッショナル」を育成する卓越した博士人材の育成を行う５年一貫教育プログラムで、博士後期課程は編入として社会人特別選抜の入学者並びに海洋AIコアコース修了者（資格審査による修了相当者を含む）を対象として受け入れを行っています。2024年４月から、海洋AI・データサイエンス学位プログラムとして運営しています。

各専攻の入学者選抜試験合格者を対象に志願者を募集し、選抜を行います。具体的な出願手続き、選抜日程については、「海洋AI・データサイエンス学位プログラム」ホームページに掲載します。

https://www.g2.kaiyodai.ac.jp/marine-ai

【食品サプライチェーン安全管理プログラム】応用生命科学専攻、応用環境システム学専攻

食品サプライチェーン安全管理に伴う課題については、博士前期課程食品流通安全管理専攻が中心となり、食品リスクをめぐるサプライチェーン全体の課題について的確な判断と問題解決能力を有する高度専門職業人の養成をめざして文理融合型・双方向コミュニケーション型の教育研究を行ってきました。こうした食品流通安全管理研究の分野統合型・実践研究型アプローチの実績に基づき、本研究分野の確立・発展のため、博士後期課程応用生命科学専攻及び応用環境システム学専攻に、専攻横断プログラムとして「食品サプライチェーン安全管理プログラム」が設置されました。

本プログラムでは食の安全・安心をめぐる現実の問題に対して、1）実現性の高い解決策、モデルを提供する、2）科学やリスクに対する社会的理解を深めるサイエンスカフェ等を実施することで、自然科学と社会科学を統合した文理融合型研究を進めることを目的とします。指定の科目を修得し博士後期課程を修了した者には、本プログラムの修了認定を授与します。

【広域履修コース】応用生命科学専攻

大学院教育改革支援プログラムの一環として、幅広い視野を持った人材育成のため、「研究・実務融合による食の高度職業人養成」プログラムを立ち上げ、広域履修コースを設定しました。なお、このプログラムは、文部科学省の教育改革支援プログラムに採択されました。指定の科目を修得し博士後期課程を修了した者には、本コースの修了認定を授与します。

【OQEANOUS Plus（オケアヌスプラス）プログラム】博士後期課程全専攻

OQEANOUS Plusプログラムは、日中韓の海洋系３大学（東京海洋大学、上海海洋大学、韓国海洋大学校）及びASEAN諸国の４大学（チュラロンコン大学、カセサート大学（以上タイ）、マラヤ大学（マレーシア）、ボゴール農科大学（インドネシア））が一体となった国際協働教育プログラムです。本学博士後期課程では、上海海洋大学及び韓国海洋大学校とのダブルディグリープログラムに参加することができます。

詳細はホームページを確認してください。

https://www.g2.kaiyodai.ac.jp/oqeanous/

【METIS（メティス）プログラム】博士後期課程全専攻

日・北欧連携国際協働教育「海洋の未来を創造する高度専門技術者」養成プログラム（METIS）プログラムでは、北欧の６大学（南デンマーク大学、デンマーク工科大学（以上デンマーク）、ノルウェー科学技術大学、ノルウェー北極大学、スタバンゲル大学及びノード大学（以上ノルウェー））と連携し、博士後期課程学生を対象とした、研究プロジェクト型/就業体験型インターンシップ派遣を実施します。

詳細はホームページを確認してください。

https://www.g2.kaiyodai.ac.jp/metis/

【創発的海洋研究・産業人材育成支援プロジェクト】博士後期課程全専攻

将来の我が国の科学技術・イノベーションの基盤となり、社会課題の解決に資する研究を担う博士人材を育成することを目的として、本学博士後期課程学生に対して、研究奨励費（生活費相当額（※）留学生は2026年度限り）及び研究費の支給並びにキャリア開発・育成コンテンツ等により、研究に専念できる環境を提供し、新海洋産業の創出を志向し、海洋社会の課題解決や社会変革に資する研究を遂行する「創発的海洋研究・産業人材」を育成することを目的として、「創発的海洋研究・産業人材育成支援プロジェクト」を実施しています。

なお、2027年度入学者対象プロジェクトは現在検討中です。

詳細はホームページを確認してください。

https://www.kaiyodai.ac.jp/s-project/

【国際魚介類感染症防疫中核拠点人材育成プログラムⅡ】応用生命科学専攻

魚病の診断・制御・予防およびWOAH疾病管理システムの知識を習得し、水圏生物生産工学研究所・感染症研究部門との連携で、国境を越えて伝播する養殖魚介類の感染症に関する先進的な研究を体験することにより、環太平洋地域において魚介類の国際防疫に携われる中核的人材の育成を行うプログラムです。私費外国人留学生、日本人学生の参加が可能です。本プログラム参加者は、大学院研究科長裁量経費（学生渡航支援等経費）、リサーチアシスタント（RA）の選考において優先されます。また、本プログラムに参加する私費外国人留学生は、学内宿舎の選考において優先（必ず入居できるわけではありません。）されます。

詳細はホームページを確認してください。

https://www.kaiyodai.ac.jp/international/

専　攻　案　内

１．アドミッションポリシー

２．試験日程

３．出題範囲

４．専攻概要

５．指導教員・専門科目一覧

●応用生命科学専攻

1 アドミッションポリシー

＜受け入れる学生に求める関心・意欲＞

海洋生物資源、食資源など応用生命科学に係る諸問題の解決、さらにそれら資源の保全と持続的利用を目指して、これらの機能性の解明、生物活動の特徴と営みの解明もしくは利用の研究に関心を持ち、自らそれらの課題設定を行い、解決と応用展開が出来る意欲ある学生を求めています。

2 試験日程

<table>
<tr><th>選抜区分</th><th colspan="2">試験区分</th><th>試験日</th><th>試験場所</th></tr>
<tr><td rowspan="2">一　般　選　抜
外国人留学生特別選抜</td><td rowspan="2">学力検査</td><td>筆記試験</td><td>２月２日(火)
１０時～１１時３０分</td><td rowspan="2">品川キャンパス</td></tr>
<tr><td>口述試験</td><td>２月２日(火)
１３時～</td></tr>
<tr><td>社会人特別選抜</td><td>学力検査</td><td>口述試験</td><td>２月２日(火)の専攻が指定する時間（または、1月28日（木）～2月1日（月）で専攻が指定する日時）</td><td>品川キャンパス ※</td></tr>
</table>

※社会人特別選抜の口述試験は、遠隔会議システム等を利用して行う場合があります。その場合の詳細については各専攻から受験生本人に連絡します。

3 出題範囲

筆記試験は、志願者が指導を希望する指導教員の専門科目から出題します。

口述試験は、修士論文等についての発表を含め行います。

4 専攻概要（専攻のホームページ　https://www.kaiyodai.ac.jp/faculty/graduate/main/#page8 ）

専　攻　名	専攻分野名	主な授業科目名
応用生命科学 海洋生物の特異な生理・生体･機能を、個体レベルから集団レベルにわたって総合的に解明し、その成果を環境との調和に基づく海洋生物資源の確保･維持管理、安全かつ高品質の海洋生物資源の増産及びそれらを利用した食品の設計、海洋生物の特異機能を応用した物質生産と次世代型機能性食品の創製等、生物生産系及び食品系の複合領域も含めて、海洋生物資源の持続的生産と高度有効利用に応用するための先端的学理と技術開発について教育研究します。研究・実務融合による高度専門職業人の育成を目指した「広域履修コース」も開設しています。	**応用生物科学** 海洋生物資源の持続的利用を目的として、生態系と環境との係わりを重視した海洋生物資源の確保・維持管理、安全かつ高品質の水産食資源の増産、海洋生物の特異機能を利用した有用物質生産等に関する先端的な教育研究を行います。	水族生理学特論 水族病理学特論 水族栄養学特論 水族養殖学特論 応用藻類学特論 集団生物学特論 保全増殖学特論 資源解析学特論 魚群制御学特論 生産システム学特論 応用生物科学合同セミナー 応用生物科学特別研究
	（連携講座）	魚類生理機能学特論 応用資源動態学特論 水産資源生態学特論 深海生物学特論
	食品機能利用学 水産生物の生命現象とその特性についての深い理解のもとに、それらを食品に変換して有効利用する際の諸問題に対して、化学・微生物学をベースとする研究分野と工学をベースとする研究分野の高度な融合によりアプローチします。とくに安全性と機能性に関する諸問題に重点を置き、水産食品だけでなく他の食品一般にも適用可能な安全性評価システムの確立、安全性確保・向上技術の開発、安全かつ機能性に富む食品の設計技術の確立へ応用するための先端的な学理と技術について総合的に教育研究を行います。	食品物理化学特論 食品機能化学特論 食品微生物学特論 食品保全化学特論 食品衛生化学特論 生体物質化学特論 食品熱操作工学特論 品質設計工学特論 食品冷凍学特論 品質設計化学特論 食品機能利用学合同セミナー 食品機能利用学特別研究
	応用生物工学 海洋には水産生物だけではなく、鉱物などの多様な海底資源が存在します。これら資源の有効利用を可能にするためには、水産学と工学とが融合したバイオエンジニアリングやバイオテクノロジーの先端的技術について、基礎から応用までを幅広く理解することが必要です。当分野では漁場環境の保全ならびに食品として安全な水産物を生産し流通するための養殖管理技術、魚介類有用遺伝子の機能解析とその応用に関するゲノムサイエンス、有用微生物の探索およびそれらの機能解析や応用などについて教育研究します。 また、生物を利用した海洋のエネルギーや鉱物資源開発などについての応用研究も目指します。	ゲノム科学特論 先端魚類防疫学特論 応用微生物学特論 食品流通安全管理特論 応用生物工学合同セミナー 応用生物工学特別研究
	（連携講座）	水産生物機能学特論
	各分野共通科目	応用生命科学インターンシップⅠ 応用生命科学インターンシップⅡ
博士後期課程全専攻 研究科共通科目		海洋科学技術特別講義Ⅰ 海洋科学技術特別講義Ⅱ

5 専門科目名及び指導教員一覧

応用生命科学専攻

＊の付いている指導教員については、募集の有無について未確定ですので、当該教員に直接お問い合わせください。

専攻分野名	専門科目名	指導教員名			連絡先ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ（～@kaiyodai.ac.jp）
応用生物科学	水族生理学特論	教授	＊	吉崎 悟朗	goro
		教授		矢澤 良輔	ryazawa
		准教授		森田 哲朗	tmorit0
		准教授		林 誠	mhay001
	水族病理学特論	教授		加藤 豪司	gkato00
	水族栄養学特論	教授		芳賀 穣	haga
		准教授		壁谷 尚樹	naoki.kabeya
	水族養殖学特論	教授		坂本 崇	takashis
		准教授		遠藤 雅人	asteroid
	応用藻類学特論	教授		二羽 恭介	kniwa00
	集団生物学特論	教授		横田 賢史	yokota
		准教授		山本 洋嗣	yyamam0
	保全増殖学特論	教授		團 重樹	sdan
	資源解析学特論	教授		北門 利英	kitakado
	魚群制御学特論	教授		秋山 清二	akiyama
	生産システム学特論	教授		塩出 大輔	shiode
（連携講座）	魚類生理機能学特論	教授		今村 伸太朗	（連絡先）佐野元彦教授 msano00
		教授		尾崎 雄一	
（連携講座）	応用資源動態学特論	教授		米崎 史郎	（連絡先）塩出大輔教授
		教授		堀 正和	
（連携講座）	水産資源生態学特論	教授		佐々 千由紀	
				（未定）	
（連携講座）	深海生物学特論	教授		藤原 義弘	（連絡先）横田賢史教授
		教授		吉田 尊雄	
		准教授		生田 哲朗	
食品機能利用学	食品物性学特論	准教授		髙橋 希元	kigen
	食品機能化学特論	准教授		小山 智之	tskoyama
	食品微生物学特論	教授		久田 孝	kuda
		教授		髙橋 肇	hajime
	食品保全化学特論	教授	＊	後藤 直宏	ngotoh
	食品熱操作工学特論	教授	＊	福岡 美香	fukuoka
		准教授		ラベ ペレス イヴァン アントニオ	pllave1
	品質設計工学特論	教授		萩原 知明	tomoaki
		准教授		柴田 真理朗	mshiba0
	食品冷凍学特論	教授		渡邊 学	mwat
	品質設計化学特論	教授		大迫 一史	osako
		准教授		耿 婕婷	jgeng00
応用生物工学	ゲノム科学特論	教授	＊	廣野 育生	hirono
		教授		近藤 秀裕	h-kondo
		准教授		小祝 敬一郎	koiwai
	先端魚類防疫学特論	准教授		二見 邦彦	futami
	応用微生物学特論	教授		小林 武志	takeshik
		教授	＊	濱田 奈保子	hsnaoko
	食品流通安全管理特論	教授	＊	濱田 奈保子	hsnaoko
		教授		井上 泉	iinoue0
		准教授	＊	永井 幸枝	ynag001
		助教		小林 征洋	yukihiro
（連携講座）	水産生物機能学特論	教授		山下 倫明	（連絡先）廣野育生教授
		教授		長井 敏	
		教授		安池 元重	

●応用環境システム学専攻

１　アドミッションポリシー

＜受け入れる学生に求める関心・意欲＞

海を知り、守り、利用する観点から、海洋環境の調査や保全・修復のテクノロジー、海上輸送と港湾における物流、エネルギーの高効率利用に関わる先進の科学技術について、多面的思考を以って取り組むことによって問題解決に至る能力を有する学生を求めます。

２　試験日程

<table>
<tr><th>選抜区分</th><th colspan="2">試験区分</th><th>試験日</th><th>試験場所</th></tr>
<tr><td rowspan="2">一　般　選　抜
外国人留学生特別選抜</td><td rowspan="2">学力検査</td><td>筆記試験</td><td>２月２日(火)
１０時～１１時３０分</td><td rowspan="2">品川キャンパス</td></tr>
<tr><td>口述試験</td><td>２月２日(火)
１３時～</td></tr>
<tr><td>社会人特別選抜</td><td>学力検査</td><td>口述試験</td><td>２月２日(火)の専攻が指定する時間（または、1月28日（木）～2月1日（月）で専攻が指定する日時）</td><td>品川キャンパス
または
越中島キャンパス ※</td></tr>
</table>

※社会人特別選抜の口述試験は、遠隔会議システム等を利用して行う場合があります。その場合の詳細については各専攻から受験生本人に連絡します。

３ 出題範囲

筆記試験は、志願者が指導を希望する指導教員の専門科目から出題します。

口述試験は、修士論文等についての発表を含め行います。

4 専攻概要（専攻のホームページ　https://www.kaiyodai.ac.jp/faculty/graduate/main/#page9 ）

専　攻　名	専攻分野名	主な授業科目名
応用環境システム学 海洋生物の変動機構の解明・予測、海洋環境を構成する物質の変動・拡散などの高精度予測技術開発、海上輸送システム、推力システム海洋構造部、海洋資源探査システムの構築や環境型推進エネルギー開発等、また、海洋環境保全・海と人間の共生の観点からその管理方策等を政策提言するための先端的学理と技術開発について教育研究します。	**海洋環境学** 海洋環境（水圏環境）を構成する物質や生物について高度に専門的な研究を行い、海洋環境の保全や資源の有効利用に資することを目的とします。①海洋生物の個体や集団についての自然史的、生命科学的、生態学的な研究、②海洋とその生態系における物質循環についての研究、③水圏環境における天然および合成化学物質についての地球化学的、生態化学的、応用生化学的な研究を中心に取り上げ、専門的な人材の養成を行います。	魚類学特論 藻類学特論 無脊椎動物学特論 浮遊生物学特論 資源生態学特論 鯨類生態学特論 物質循環論特論 水圏生態化学特論 水圏材料化学特論 海洋生化学特論 生体機能利用学特論 魚類生態学特論 海洋科学技術特別演習 元素動態特論 化学海洋学特論 海洋環境学合同セミナー 海洋環境学特別研究 海洋生態学特論
	環境保全システム学 海洋に生じる様々な時空間スケールの現象を観測・実験・理論により正しく把握し、現象発生のメカニズム、異なる現象間の相互作用を究明し、海洋環境変動予測を可能とするモデルを構築するための教育研究を行います。また、環境を保全しつつ合理的・持続的に海洋とその資源を利用するために、先端的理論・工学技術を駆使した計測・情報システムや生産システムの開発と高度化、環境のリスク管理とシステムの評価などについて、教育研究を行います。	海洋物理学特論 資源環境学特論 海洋情報解析学特論 環境測定学特論 環境数理科学特論 沿岸環境学特論 海洋計測工学特論 海洋環境機械学特論 応用情報システム工学特論 応用海洋数理工学特論 海洋環境工学 海洋統計工学 海洋環境工学演習 リスク管理工学 制御システム設計工学 システム安全工学演習 海洋文化学特論 海洋文化学演習 遠洋航海観測特別実習 環境保全システム学合同セミナー 環境保全システム学特別研究 国際海洋管理学特論 超電導工学 超電導工学実験
	（連携講座）	海洋生産環境学特論
	海洋利用システム学 海洋を大量輸送手段の場として利用する船舶や海洋からの恵みを環境に配慮しつつ利用するための海洋構造物、海中移動体などを中心に、それらの安全運航、測位、航法、制御、航路設計、管制システムの構築、あるいはそれらの設計に関し、高度に発展した電子、通信、情報、制御技術などを応用して創造し、海洋をその環境に配慮しつつ、人類の持続的繁栄のために最大限利用する高度な技術について教育研究を行います。	知識情報システム工学 知識情報システム演習 海洋知能ロボット工学 海洋知能ロボット工学実験 海洋計測特論 海洋計測実験 航路設計工学 航路設計工学演習 衛星測位システム 衛星測位システム実験 衛星航法工学特論 移動体最適制御 移動体最適制御実験 海洋施設工学特論 海洋施設工学演習 海上安全工学特論 海上安全システム実験 人間機械系工学 船舶耐航性能特論 耐航耐波システム実験 浮体操縦運動論 浮体操縦運動論実験 海洋利用リスク保険法学 海洋利用システム学合同セミナー 海洋利用システム学特別研究 運航支援システム特論 運航支援システム特論演習 安全運航管理特論 安全運航管理特論演習 海上輸送システム法学特論 自然言語処理特論

専　攻　名	専攻分野名	主な授業科目名
応用環境システム学	**海上安全テクノロジー** （大学院専任講座）（連携講座） 世界経済や日本の国民生活を支える海上輸送の発展や海洋開発にとって海や船の安全の確保は大前提でもあり地球環境保全の視点からも重要です。海や船の安全とそれを規定する要素と要件について考察し、海上技術安全研究所の研究業務と連携しながら、船の性能、操船の方法、船や材料の開発について教育と研究を行います。	海上輸送システム設計特論 海上輸送システム設計演習 安全推進システム設計工学特論 安全推進システム設計工学演習 海上交通システム設計特論 海上交通システム設計演習 海上電波通信・監視工学 交通安全工学特論 海上安全テクノロジー合同セミナー 海上安全テクノロジー総合特別研究
	ロジスティクス 生活や経済活動の基盤であり国際化・情報化により進展しているロジスティクスについて、輸送・保管・流通加工・流通情報・流通経営などの分野を対象に、経済的効率化や社会的効用の増進を目的として、海・陸・空の複合一貫輸送システム、生産から消費までの流通システム、物流と一体となった流通情報システム、およびロジスティクス・システム全体を対象として、計画・設計、運用管理、戦略・政策立案などに関する教育研究を行います。	交通システム計画工学特論 サプライ・チェイン最適化工学特論 交通ロジスティクス工学演習 物流設計工学特論 複合輸送システム工学特論 知覚情報処理特論 輸送情報システム実験 産業構造特論 国際交通産業特論 流通経済総合演習 交通政策特論 数理科学特論 応用解析特論 ロジスティクス合同セミナー ロジスティクス特別研究 情報数理特論 統計科学特論 離散数理特論
	海洋機械システム学 地球環境を護りつつ人類が海を有効にかつ安全に利用するために必要なさまざまな機械とそのシステムを取扱います。機械工学、電気・電子工学、エネルギー・環境工学、材料学、計測・制御工学、システム工学、安全工学などの総合的な知識を土台とし、舶用エンジン、タービン、発電機、舶用機械・電気設備、海洋構造物・海上プラント、海中ロボット、観測機器、燃料電池や超電導モータなどの新しい動力システム、新しい機器・材料などの最先端技術について教育研究を行います。	ロボット制御工学 ロボット制御工学実験 海洋システム制御工学 海洋システム制御実験 数理システム設計工学 数理システム設計演習 通信制御工学 通信制御工学実験 機能材料工学 機能材料工学実験 ターボ動力工学 ターボ動力工学実験 熱機関工学 熱機関工学実験 舶用推進工学 舶用推進工学実験 熱環境工学 熱環境工学実験 環境エネルギー工学特論 環境エネルギー工学実験 パワーエレクトロニクス パワーエレクトロニクス実験 材料表面工学 材料表面工学実験 材料環境工学 材料環境工学実験 熱移動現象学 熱移動現象学実験 熱エネルギー機器工学 熱エネルギー機器工学実験 数値流体力学 数値流体力学演習 光計測工学 光計測工学実験 機械設計工学 機械設計工学実験 海洋機械システム合同セミナー 海洋機械システム特別研究 海洋デバイス物理工学 海洋デバイス物理工学実験

専　攻　名	専攻分野名	主な授業科目名
応用環境システム学	**産業政策文化学** 海と人間との共生関係を解明して、よりよい海洋利用政策の提言を目指し、海洋資源の持続的な利用と新たな活用について研究、教育します。このため水産資源の生産、利用、加工や流通問題に取り組み、特に200海里体制後の資源維持、利用に関する社会科学的解明を行います。また海面や沿岸域のレジャーや健康関係への利用や、海洋利用と人間発達との関係、環境問題を主題とする文学の研究を行います。このように、海洋利用や海洋環境維持に関する文化的な諸問題も総合的に取り扱います。	沿岸域環境管理特論 沿岸域利用政策論特論 海洋産業経済学特論 国際漁業管理特論 身体適応学特論 水圏環境教育学特論 環境文学論批評特論 コミュニケーション関係論特論 食品リスクコミュニケーション特論 科学論特論 産業政策文化学合同セミナー 産業政策文化学特別研究 海洋産業経営論特論
	海洋探査・利用工学 （大学院専任講座）（連携講座） しんかい６５００、かいこう、うらしま、ＭＲＸ、北極海横断潜水調査船等の海洋ロボットプロジェクト、音響による水中物体探査や音響トモグラィーによる大域的海洋環境測定･解析プロジェクトおよび浮体による波力発電、潮力発電、空港や洋上プラント等の海洋利用プロジェクト等、世界をリードするビックプロジェクトの推進役である海洋研究開発機構の技術開発部門において、世界の主要研究機関と競合する研究開発に参画します。	水中探査システム工学特論 水中探査システム工学実験 水中音響システム工学特論 水中音響システム工学実験 浮体利用システム工学特論 浮体利用システム工学実験 海洋探査・利用工学合同セミナー 海洋探査・利用工学特別研究
博士後期課程全専攻 研究科共通科目		海洋科学技術特別講義Ⅰ 海洋科学技術特別講義Ⅱ

５ 専門科目名及び指導教員一覧

応用環境システム学専攻

＊の付いている指導教員については、募集の有無について未確定ですので、当該教員に直接お問い合わせください。

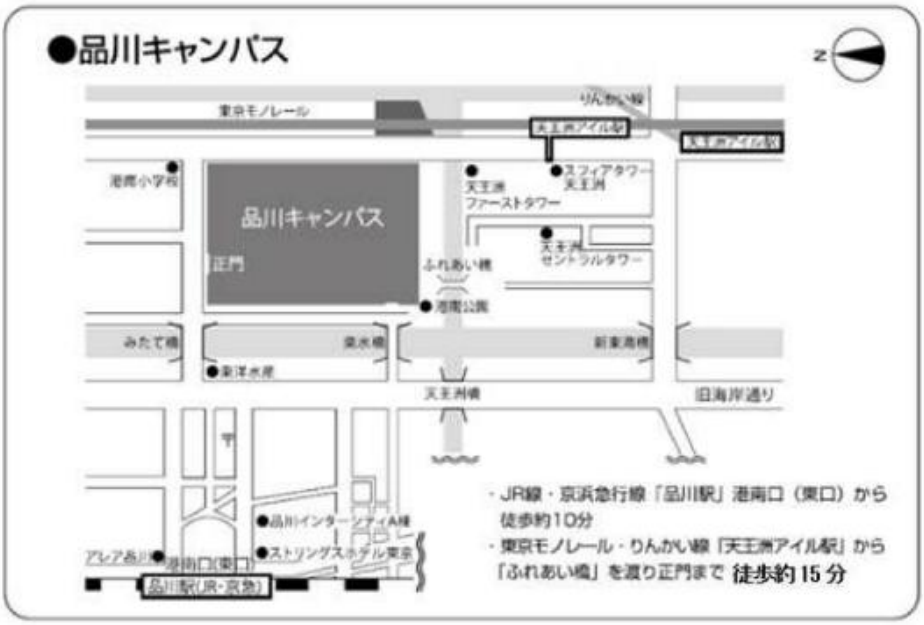
専攻分野名	専門科目名	指導教員名			連絡先ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ（～@kaiyodai.ac.jp）
海洋環境学	藻類学特論	教授		神谷 充伸	mkamiy0
	浮遊生物学特論	教授		片野 俊也	tkatan0
		准教授		宮本 洋臣	hmiy001
	水圏生態化学特論	教授		神尾 道也	mkamio
	海洋生化学特論	准教授		岡井 公彦	mokai01
	生体機能利用学特論	准教授		呉 海云	wuhaiyun
	化学海洋学特論	教授		川合 美千代	michiyo
	海底有機物進化論	教授		山中 寿朗	t.yamanaka
	魚類学特論	教授		茂木 正人	masato
		准教授		板倉 光	itakura-useyaro
	無脊椎動物学特論	准教授		今 孝悦	kon
	資源生態学特論	教授		鈴木 直樹	naoki
	鯨類生態学特論	教授		村瀬 弘人	hmuras0
環境保全システム学	海洋物理学特論	教授		北出 裕二郎	ykitade
		准教授		溝端 浩平	mizobata
		准教授		田中 祐希	ytan002
	海洋情報解析学特論	教授		島田 浩二	koji
	沿岸環境学特論	教授		稲津 大祐	dinazu0
	海洋環境機械学特論	教授	*	戸田 勝善	toda
	応用情報システム工学特論	教授		内田 圭一	kuchida
	応用海洋数理工学特論	教授		上野 公彦	ueno
	海洋環境工学・海洋統計工学	准教授		平田 英隆	hhir001
	海洋統計工学	教授		小橋 史明	kobashi
	海洋底地球科学特論	教授		中東 和夫	knakah0
	海洋地盤工学特論	教授		高橋 英紀	htak001
		准教授		野村 瞬	nomura.shun
	電子デバイス工学	教授		井田 徹哉	tida000
	資源環境学特論	准教授		長井 健容	tnagai
	環境数理解析学特論	教授		中島 主恵	nkimie
	海洋計測工学特論	教授		甘糟 和男	amakasu
	国際海洋学特論	准教授		淵田 茂司	sfuc001
	海洋エネルギー資源化学特論	教授		小林 厚志	akob001
（連携講座）	海洋生産環境学特論	教授		井上 誠章	（連絡先）甘糟和男教授
海洋利用システム学	海洋知能ロボット工学	教授		近藤 逸人	hkondo
	航路設計工学	教授		田丸 人意	tamaru
	衛星測位システム	教授		久保 信明	nkubo
	移動体最適制御	教授		岡崎 忠胤	okazaki
	海洋施設工学特論	准教授		増田 光弘	masuda
	海上安全工学特論	教授		南 清和	minami
	人間機械系工学	教授		内野 明子	uchino
	海洋計測特論	教授		村井 康二	kmurai0
	知識情報システム工学	教授		古谷 雅理	tfuruya
	運航支援システム特論	准教授		西崎 ちひろ	cnishi0
	レジリエント航法システム特論	准教授		福田 厳	gfukud0
海上安全テクノロジー（連携講座）	海上輸送システム設計特論			（未定）	（連絡先）久保信明教授
	安全推進システム設計工学特論			（未定）	
	海上電波通信・監視工学	准教授		米本 成人	（連絡先）久保信明教授
		教授		坂井 丈泰	

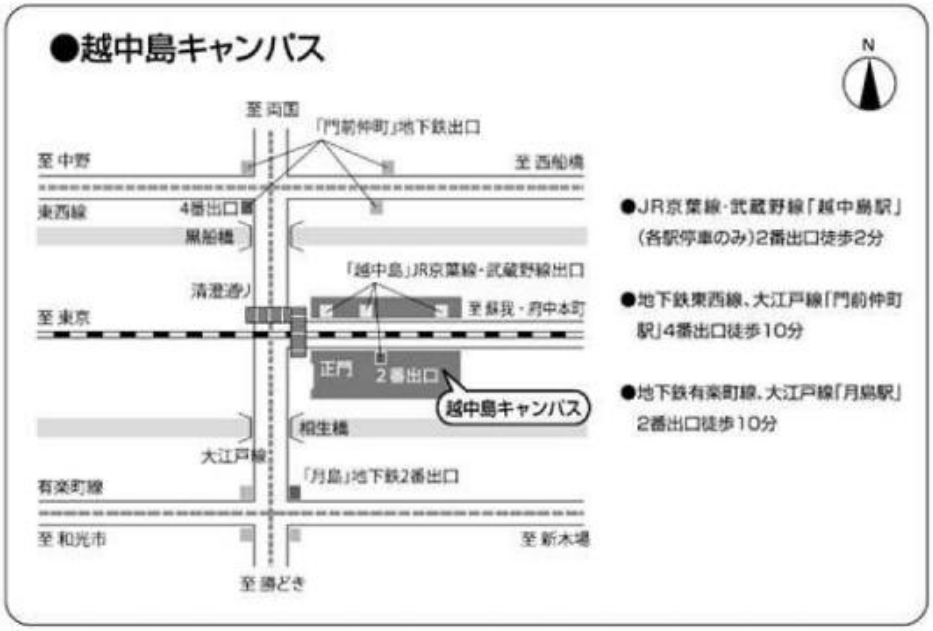
5 専門科目名及び指導教員一覧

＊の付いている指導教員については、募集の有無について未確定ですので、当該教員に直接お問い合わせください。

専攻分野名	専門科目名	指導教員名			連絡先ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ（～@kaiyodai.ac.jp）
ロジスティクス	物流設計工学特論	教授	＊	黒川 久幸	kurokawa
	流通アルゴリズム工学特論	准教授		橋本 英樹	hhashi0
	ネットワーク解析特論	教授		原口 和也	Haraguchi
	応用解析特論	教授		竹縄 知之	takenawa
	情報数理特論	教授		関口 良行	yoshi-s
	離散数理特論	准教授		茂木 康平	kmoteg0
	空間情報工学特論	教授		渡部 大輔	daisuke
	国際交通産業特論	教授	＊	遠藤 伸明	nendo
	産業組織特論	教授		奥村 保規	yokumu0
	交通システム計画工学特論	准教授		坂井 孝典	tsakai2
	統計科学特論	准教授		田上 悠太	ytan001
海洋機械システム学	ロボット制御工学	教授		清水 悦郎	shimizu
	海洋システム制御工学	准教授		小池 雅和	mkoike0
	環境エネルギー工学特論	教授		波津久 達也	hazuku
		准教授		井原 智則	ihara
	材料表面工学	教授	＊	地引 達弘	jibiki
	分子デバイス特論	教授	＊	大貫 等	ohnuki
	マイクロ・ナノ工学	教授		田中 健太郎	kentaro
	数理システム設計工学	教授		田原 淳一郎	jtahar0
	機能材料工学	教授		藤田 渉	wfujit0
	大気放射学	教授		関口 美保	miho
	機械機能要素工学	教授		藤野 俊和	tfujin0
	熱移動現象学	准教授		地下 大輔	djige00
	構造材料工学	准教授		盛田 元彰	morita
	パワーエレクトロニクス	教授		木船 弘康	kifune
	情報通信制御工学	教授		大島 浩太	kxoh
産業政策文化学	沿岸域利用政策論特論	教授		工藤 貴史	kudot
	身体適応学特論	教授		千足 耕一	chiashi
		准教授		藤本 浩一	kfujim1
	環境文学論批評特論	教授		小暮 修三	skogure
		教授	＊	日臺 晴子	h-hidai
		教授		大野 美砂	misa
	水圏環境教育学特論	教授		佐々木 剛	t-sasaki
	食品リスクコミュニケーション特論	准教授		小川 美香子	mogawa
	科学論特論	教授		柿原 泰	ykakihar
		教授		萩原 優騎	yhagiw0
	海洋産業経営論特論	教授		中原 尚知	nakahara
	海洋経済史特論	教授		高橋 周	ctakah0
	地域産業発展論特論	准教授		大石 太郎	toishi0
	国際漁業管理特論	准教授		松井 隆宏	tmatsu2
	海洋社会言語学特論	准教授		今村 圭介	kimamu0
	環境経済政策論特論	准教授		若松 美保子	mwakam0
海洋探査・利用工学（連携講座）	水中探査システム工学特論	准教授		石橋 正二郎	（連絡先）清水悦郎教授
	水中音響システム工学特論	教授		越智 寛	
	浮体利用システム工学特論	教授		大澤 弘敬	

交 通 の 案 内


●品川キャンパス
N
東京モノレール
りんかい線
天王洲アイル駅
天王洲アイル駅
港南小学校
品川キャンパス
正門
天王洲
ファーストタワー
スフィアタワー
天王洲
天王洲
セントラルタワー
ふれあい橋
港南公園
みたて橋
東水橋
新東海橋
東洋水産
天王洲橋
旧海岸通り
品川インターシティA棟
ストリングスホテル東京
アレア品川
港南口(東口)
品川駅(JR・京急)
・JR線・京浜急行線「品川駅」港南口（東口）から徒歩約10分
・東京モノレール・りんかい線「天王洲アイル駅」から「ふれあい橋」を渡り正門まで 徒歩約15分


●越中島キャンパス
N
至 両国
「門前仲町」地下鉄出口
至 中野
至 西船橋
東西線
4番出口
黒船橋
「越中島」JR京葉線・武蔵野線出口
清澄通り
至 東京
至 蘇我・府中本町
正門
2番出口
越中島キャンパス
相生橋
大江戸線
「月島」地下鉄2番出口
有楽町線
至 和光市
至 新木場
至 勝どき
●JR京葉線・武蔵野線「越中島駅」（各駅停車のみ）2番出口徒歩2分
●地下鉄東西線、大江戸線「門前仲町駅」4番出口徒歩10分
●地下鉄有楽町線、大江戸線「月島駅」2番出口徒歩10分

学生募集要項に関する問合せ先
〒108-8477　東京都港区港南４－５－７
東京海洋大学　入試課入試第二係
TEL　03-5463-4265
MAIL　n-nyusi2@o.kaiyodai.ac.jp
URL：https://www.kaiyodai.ac.jp/